

講義名	公衆衛生学
開講学年	1
単位	2

授業の達成目標	人々を疾病から守り、健康の保持、増進をはかるための学問である公衆衛生学について学び、医療・健康分野の専門家としての基礎を身に着ける。
授業の概要	人間の健康を規定する要因としての社会・環境に関する基礎を学ぶ。 健康の維持、増進や疾病予防に役立てる基本的な考え方とその取組について学ぶ。 保健・医療・福祉制度や関係法規の概要についての基礎を学ぶ。
授業形式	講義

授業計画表

回	項目	内容	キーワード・備考
1	イントロダクション	・公衆衛生学の授業のねらい ・健康とは	健康の定義 WHO
2	健康と公衆衛生 1	・疾病予防の段階 ・公衆衛生の目的、分野	一次予防～三次予防 対人保健、環境保全
3	健康と公衆衛生 2	・公衆衛生の活動	プライマリーヘルスケア、ヘルスプロモーション
4	環境汚染	・環境汚染と健康影響（公害） ・環境基準（大気、水質） ・ダイオキシンと内分泌かく乱物質	公害 環境基本法 ダイオキシン類
5	地球規模の環境問題	・地球環境問題 ・環境問題に対する取り組み	気候変動 温室効果ガス
6	環境衛生	・空気と温熱環境 ・上水道 ・廃棄物処理 ・そ族衛生動物	水道法 産業廃棄物、一般廃棄物
7	保健統計	・人口静態統計、人口動態統計 ・生命表と平均寿命、健康寿命 ・傷病統計（疾病統計）	
8	疫学	・記述疫学、分析疫学（コホート研究、症例対照研究）	

		・介入研究 ・バイアス、エビデンスレベル	
9	生活習慣の現状と対策	・生活習慣と健康 ・生活習慣病とは ・我が国における健康づくり対策 ・喫煙、飲酒の健康影響	健康日本21
10	生活習慣病の疫学と予防対策	・三大生活習慣病 ・生活習慣病とその発生病因 ・肥満	メタボリックシンドローム、特定健康診査
11	感染症	・感染の三要素、感染様式 ・感染症法 ・予防接種	
12	医療制度	・医療制度 ・医療施設 ・医療保険（医療保険の種類）	医療圏 国民医療費
13	地域保健	・地域保健のしくみ ・保健所と市町村保健センター	
14	高齢者保健、介護	・高齢者保健、介護 ・介護保険制度（介護認定、サービス） ・介護施設	
15	まとめ	全体のふりかえり	

事前・事後学習の内容	講義はスライドを使用して行う。あらかじめ教科書の該当ページを読んで予習しておくことが望ましい。
成績評価の方法	テスト（70%）、提出物・出席日数・授業態度（30%） 評価基準は合計90点以上：S、85～89点：A+、80～84点：A、75～79点：B+、70～74点：B、65～69点：C+、60～64点：C、60点以下：Dとし、Dは不合格とする。 ただし、出席が2/3未満の場合は評価をせず不合格とする。
参考書	授業で配付するスライド資料
教材	社会・環境と健康 公衆衛生学（医歯薬出版）